

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあつては名称) 水島エルエヌジー株式会社	住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒 712-8071 倉敷市水島海岸通 4 丁目 2 番地
----	-----------------------------	----	---------------------------------------------------------

本票作成 部署名：オペレーション・技術部

主たる業種	分類コード	34	業種名：ガス業
-------	-------	----	---------

事業の概要

- ・ LNGの受入、貯蔵、気化およびガス送出事業（令和4年度 年間取扱量69.3万 t）
- ・ 基地増設工事が完了し、平成23年4月より稼働開始

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	水島LNG基地	倉敷市水島海岸通 4 丁目 2 番地

特定事業者の該当要件

①燃料等原油換算1,500kl以上 ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 ③CO₂換算3,000t以上

(●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)

温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 1 年度)	(令和 4)年度排出量	目標年度 (令和 6 年度)
	22,543 t CO ₂	30,372 t CO ₂	21,416 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和 4)年度排出量
	①	水島LNG基地	30,372 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況

計画期間： 令和 2 年度 ~ 令和 6 年度 (5 箇年度)

<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(4)年度削減実績	目標削減率	目標達成
<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△ 88.8 %	5.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 ガス製造業	原単位当たり排出量		
		基準年度	(4)年度	目標年度
		19.569 t CO ₂ /(百万Nm ³)	36.949 t CO ₂ /(百万Nm ³)	18.590 t CO ₂ /(百万Nm ³)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和 4 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

(1) 排出量について
令和4年度は、ガス製造量の減少に伴う1ry・2ryポンプの電力消費減、BOG再液化設備稼働によるCP-7稼働減、気化器の効率運転による海水ポンプ電力消費減等により、消費電力は基準年度比700MWh(約▲1.6%)減少した。一方で、電力供給元であるENEOS株式会社A工場※の排出係数が悪化した影響で、排出量が増加した。
(0.000503 tCO₂/kWh⇒0.000691 tCO₂/kWh)

※ENEOS(株)水島製油所(以下、水島製油所)と水島エルエヌジー(株)(以下、水エル)は、合同事業所として設置・運営しており、水エルは水島製油所から電力含むユーティリティ供給を受けている

(2) 原単位について
コロナウイルスの蔓延等に起因した火力発電用、製油所用および販売用天然ガス需要等のLNG需要の減少により、令和4年度は基準年度対比で28万トン(約▲29%)と大幅減少した。よって、消費電力の削減に取り組んだものの、排出量の増加および分母であるガス製造量が大幅に減少した影響の方が大きく、目標未達となった。

【推進体制】

- ・省エネ法に基づくエネルギー管理体制のもと、エネルギー使用状況を確認している。
- ・当社はエネルギー管理を含めた運転保守管理をENEOS(株)へ業務委託しており、委託先であるENEOS(株)は1999年にISO14001を認証取得している。
- ・省エネを目的とした会議を関係者で定期的に開催し、積極的に情報交換やアイテム発掘を行っている。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
水島LNG基地	<p>(令和4年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LNG気化器出口配管の接続先付替え工事による効率操業実施：539 COE-kL (=2, 140MWh/年)。 ・海水ポンプのコーティング(PU-6D, PU-17)実施=26 COE-kL/年 (=103MWh/年)。 ・タンク蓄圧によるBOG圧縮機・昇圧圧縮機の稼働削減：76COE-kL (=300MWh/年)。 <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LNG気化器出口配管の接続先付替え工事により、LNG気化器の運転方針を見直すことで、海水ポンプを一台停止し、効率的な操業を図る。 ・再液化装置を連続運転するとタンク内環境が悪化し(圧力高、温度高等)、長期間の運転ができていない状況である。運転データを蓄積し、新たな運転方法/管理値の設定をし、稼働時間の向上を目指す。

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--